



◆環境課  
☎ 587 - 6003  
FAX 587 - 3834



## 生ごみを減量しましょう！

毎日の炊事で発生する野菜くずや肉、魚の切れ端…。

生ごみ（燃えるごみ）の回収日まで悪臭と格闘し、ごみ出しのときの重さに苦労している人も多いのではないのでしょうか。

また、水分を含んでとても重くなっている生ごみを回収したり運搬したりするのにガソリンを使い、さらに、焼却したり埋め立てたりするのもにもエネルギーが使われています。

家庭から出る生ごみの量を少なくすることができれば、自然や社会に少しでもやさしい生活ができるのではないのでしょうか。

生ごみ処理容器等を使って、生ごみ減量にチャレンジしてみましよう！

☆生ごみ処理容器等のメリット  
●ごみ出しが楽に！

生ごみが大幅に減れば、ごみ集積所までの持ち運びが楽になり、その回数も減ります。しかも、においや汁漏れも事前の処理でなくなります。

●ごみ集積所が衛生的に！  
ごみ集積所内の生ごみが減少し、においや汁漏れも少なくなるため、カラス、野良犬、野良猫などが寄り付きにくくなり、衛生的になります。

●キッチンが清潔に！  
生ごみをその日のうちに処理することで、嫌なにおいがなくなり、ハエ、ゴキブリ、ネズミもいなくなります。また、生ごみの置き場所に困らず、キッチンシンクや三角コーナーも清潔になります。

●有機肥料として再利用！  
今まで捨てるだけだった生

ごみも、有機肥料の原料として再利用できます。

●ごみ処理のコスト削減！  
生ごみが減ると燃えるごみが減るため、ごみ袋の節約になります。また、収集運搬時の労力削減やごみ処理施設・設備の延命にもつながるため、コスト削減になります。

☆生ごみ処理容器等の種類

●非電気式（補助金の対象）  
①コンポスト…土の中の微生物を使い、堆肥化します。

②密閉容器…密閉状態で働く微生物を使い、堆肥化します。

③機械式（手動）…電気を使わずにかきませ、微生物や酵素で生ごみを分解します。

●電気式（補助金の対象外※）  
①熱処理式…温風で乾燥します。

②バイオ式…微生物の働きによつて生ごみを分解します。

③ハイブリッド式…送風乾燥後、バイオ処理します。

※ごみ減量のメリットがある反面、電力消費が増え、二酸化炭素の排出が増大することから、市では補助金の交付は行っていません。

☆生ごみ減量化推進補助金

市では、生ごみの減量に大きな効果がある生ごみ処理容

器等の購入者に対して補助金を交付しています。

対象…市内在住者※過去に補助金の交付を受けていない世帯の人  
補助対象…コンポスト・密閉容器・機械式（手動）の生ごみ処理容器等※1世帯2台まで。

補助額…購入金額の2分の1（1台につき上限3千円）

※先着順で受け付け、予算がなくなり次第締め切ります。

### 第7回リユース物品の展示および無償譲渡会

粗大ごみ等の減量をめざし、物品のリユース（再利用）の推進を図るため開催します。ごみとして処分するのではなく、まだ使えるリユース物品として展示します。

日時…3月27日(日)午後1時30分～2時30分

場所…(仮称)野洲市リユースセンター(西河原2419・旧消防署車庫)

対象物品…家具類、チャイルドシート、食器類、陶磁器類、バッグ類、ベビーカー、老人用手押し車

譲渡対象者…市内在住者

譲渡申込方法…①午後1時30分～2時30分に希望されるリユース品に対し1人第3希望まで申し込みができます。

②午後2時30分に譲り渡す人を決定します。(複数申し込みがある物品については抽選)

注意事項…引渡し後のリユース物品は返品不可。リユース物品の瑕疵責任は負いません。リユース物品の第三者への譲渡は禁止します。



無償譲渡会の展示品

### 毎月第4土曜は 廃食油回収の日

3月26日(土) 午前10時～正午

回収会場：市役所別館(旧コミセンやす) 横電話ボックス付近

回収物：廃食油、牛乳パック、アルミ缶  
問環境課☎587-6003、エコロジーマーケットやすの会・増村☎586-1441

# 歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(78)

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【3月の休館日】月曜・火曜日※21日(祝)は開館

◆テーマ展「土人形」／3月6日(日)まで

◆テーマ展 野洲の古文書(9)比江のくらしといのり—長澤神社文書を読み解く—  
／3月12日(土)～4月17日(日)

◆親子で工房ウキウキ体験／3月9日(水)午  
前10時～11時30分 2歳以上の親子20組、  
参加費500円、電話にて申し込み

◆第7回市史・郷土史学習会／3月12日  
(土)午後2時～4時 「長澤神社文書にみる歴史  
と文化」江藤弥生(市史編さん調査員)／  
「ヴォーリス建築だった中主小学校旧校舎」古  
川与志継(歴史民俗博物館長)

## 長澤神社文書 —テーマ展示史料より—

野洲市比江には、創建が703(大宝3)年と伝わる長澤神社が鎮座します。当社では約160点もの史料群が保管されており、平成22年度から銅鐸博物館にて調査、整理を行いました。そこで、当館では長澤神社文書を公開し、テーマ展「比江のくらしといのり—長澤神社文書を読み解く—」(3月12日～)を開催します。今回は、長澤神社文書の一部をご紹介します。

明治末期に、長澤神社は村内に鎮座する七社(若宮神社、星宮神社、日吉神社、大將軍神社、貴船神社、八幡神社、野神社)と合祀しており、当社には星宮神社の由来が記された「星宮之神縁」が保管されていました。ここには、比江の莊司であった藤原嘉則夫妻が子宝に恵まれず嘆いていたところ、長澤神社の神宮寺とされる蓮乗寺開祖の禪源阿闍梨が哀れに思い、北斗星を祀る社を建てて子宝祈願をすると、ついに夫妻には男の子が誕生したとあります。その社を星宮と名付けたと続

きますが、北斗星を祀る妙見信仰は、主に天台宗などの密教系の寺院にみられます。比江という地名からも分かるように、この一帯は天台宗総本山である比叡山延暦寺の影響を色濃く受けており、天台系の信仰圏があったといえるでしょう。

また長澤神社には、足利將軍家ゆかりの女性や皇女たちが代々住持を務め、江戸時代には「百々御所」と勅許を賜った臨濟宗尼門跡寺院の宝鏡寺(京都市上京区寺之内通堀川東入ル百々町)とのつながりを示す史料が保管されています。当社本殿には「長沢大明神」とある扁額(縦92・5cm、横84cm)が掲げられています。これは、長澤神社文書の史料群に納められていた本覚院宮徳嚴理豊禪尼染筆の掛け軸「長沢大明神」をう

つしたものです。後西天皇皇女である本覚院宮徳嚴理豊禪尼(1672～1745年)は、宝鏡寺の中興の祖とも呼ばれ、能書家として各地で額字を揮毫しています。扁額は、木製の表部分に一部修復の跡が確認できますが、裏面の銅板部分に「御西院皇女本覚院宮御震筆 寶鏡寺宮御家司黒崎源義宣」とあり、本覚院宮徳嚴理豊禪尼から下賜された扁額であることが分かれます。また、この扁額には



長澤神社掛け軸



長澤神社扁額

1744(延享元)年に記された添書があり、そこには宝鏡寺の家司(家政の事務を司る職務)である黒崎越後守義宣を仲介に、古稀を迎えた本覚院宮徳嚴理豊禪尼が間違いないで染筆したと証明する内容が記されています。本来、一紙であったと思われませんが、後世になって掛け軸の装丁が施されており、裏面には「文化十四歳在丁丑六月十五日表具寄附高谷岡右衛門」とあります。ここには集落に残る貴重な財産を後世に伝えようとする意識が垣間見えます。本展では、今回ご紹介したものをはじめ、長澤神社の来歴がわかるさまざまな史料を展示し、比江の人々のくらしや信仰形態を紐解きます。ぜひご来館ください。  
(市史編さん調査員 江藤弥生)